

一学校教育目標一

よく学び 心豊かで

たくましい上間っ子

- (1) よく考え進んで学ぶ子
- (2) 明るく思いやりのある子
- (3) ねばり強くたくましい子

学校便り

第36号

# 上間っ子

R6年3月7日(木)

那覇市立

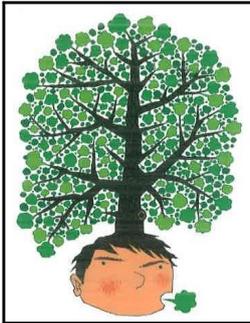
上間小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3327

## お話朝会「言葉の力」!!



私たちは小学校3年生で、「言葉」という漢字を習います。

私が4年生の時、担任のふさと先生がこう言いました。

「言葉という字は漢字で、『言う葉っぱ』と書きます。きれいな言葉を使えば、きれいな木に見えます。汚い言葉だったら、汚い木になります。」

先生は黒板に色チョークを使って「言葉の木」の絵をかきました。葉っぱの少ない木が、本を読んで根元に栄養がいきわたると、青々とした言葉の葉でおおわれました。

ペラペラとおしゃべりが上手でも、うその葉っぱはすぐに風で飛んでいきます。

たくさんの木をえがいた後、先生は「自分の『言葉の木』を大切に育てましょう」と言いました。この風景が目に焼き付いています。

「やべ」「きもい」「うざい」なんて言う言葉の葉しかついていない人の木は、さびしくて、みすばらしいです。

説得力のある人の頭には、よく生いしげった「言葉の木」があるはずです。



それで、今日の朝会は、こんなことを話しました。

上間っ子と一緒に考えたいことは、「言葉の力」です。

上間っ子も校長先生も、毎日、「新しい言葉」に出会っています。

新しい言葉に出会ったら、その言葉の意味を考えてみましょう。

よい言葉に出会えたら心の中にメモを残しましょう。

新しい言葉は、「新しい自分」です。

新しい言葉は、「新しい世界」です。

それまで気にならなかったこと、おもしろいと思わなかったこと、心がひかれなかったことが身近に思えるようになります。

それまで気付かなかったことが見えるようになります。

「人」は言葉で考え、行動することを決めます。

どんな言葉を知っているか、どんな言葉を使うか、それだけで、生き方も人とのかかわり方も変わってきます。

学校にかようということは、「新しい言葉」に出会うためでもあります。

みんなで「すてきな言葉」があふれる上間小学校にしていきたいと思います。

